

第4回教育委員会（定例）議事録

1 開 会

令和6年7月30日（火） 14時00分

2 場 所

市役所第2庁舎3階 2-301・302会議室

3 会議に出席した委員

教育長 丹後 政俊
委 員 西田 正志
委 員 鈴木 友美
委 員 吉良 佳晃
委 員 倉 眞智子

4 会議に出席した職員

学校教育部長 酒井 寛興
こども未来部長 田中 正典
社会教育部長 小林 康弘
学校教育次長 浅田 智広
教育総務課長 山内 俊秀
学校教育課長 小嶋 拓也
学 事 課 長 荒木 敏文
教育研究所副所長 崎田 真宏
西部学校給食センター所長 仁木 秀樹
子育て企画課長 山鳥 有史
保育教育課長 山田 康弘
社会教育・文化財課長 田中 和哉
中央図書館長 田中 真紀子
市史編さん課長 小島 理三
田園交響ホール館長 酒井 直隆
中央公民館長 竹見 朋子
教育総務課主査 北尾 真理奈

5 議事日程及び議案

別紙の通り

6 開会宣言

14時00分

7 会 期

（自）令和6年7月30日 （至）令和6年7月30日 1日間

8 会議録署名委員名簿

倉眞智子委員

9 閉 会

15時05分

丹後教育長 全委員 丹後教育長	日程第1、令和6年度第3回会議録の報告、承認について意見等はないか。 異議なし。 全員異議なしで、会議録をこのとおり承認する。
丹後教育長	日程第2、会議録署名委員は、4番倉真智子委員を指名する。
丹後教育長	日程第3、会期は令和6年7月30日、本日1日間とする。
丹後教育長	日程第4、議案に移る。議案第8号「令和7年度使用義務教育諸学校用教科用図書の採択について」、学事課に説明を求める。
荒木課長	《議案書に基づき説明》
丹後教育長	質疑はないようですので、議案第8号「令和7年度使用義務教育諸学校用教科用図書の採択について」採決をする。異議はないか。
全委員	異議なし。
丹後教育長	全員賛成で、議案第8号「令和7年度使用義務教育諸学校用教科用図書の採択について」は原案どおり可決する。
丹後教育長	議案第9号「丹波篠山市指定文化財(名勝)の指定にかかる諮問について」、社会教育・文化財課に説明を求める。
田中課長	《議案書に基づき説明》
丹後教育長	質疑はないようですので、議案第9号「丹波篠山市指定文化財(名勝)の指定にかかる諮問について」採決をする。異議はないか。
全委員	異議なし。
丹後教育長	全員賛成で、議案第9号「丹波篠山市指定文化財(名勝)の指定にかかる諮問について」は原案どおり可決する。
丹後教育長	日程第5、協議事項に移る。協議第2号、『「令和5年度実績教育委員会の点検・評価」について』、教育総務課に説明を求める。
山内課長	《議案書に基づき説明》
西田委員 山内課長	昨年度から引き継がれている外部評価者の意見があれば教示願う。 ここ数年、コロナ禍で減っていた指標数値については、収束後は増えているが、単に数値が増えたことに満足はせず、本来の目的も踏まえ、評価いただきたいとの意見をいただいている。
丹後教育長	説明にもあったように8月9日までに意見があれば願います。

丹後教育長	協議第2号、『「令和5年度実績教育委員会の点検・評価」について』は、ここまでとする。
丹後教育長	日程第6、報告事項に移る。報告1「寄附採納について」、教育総務課に報告を求める。
山内課長	《議案書に基づき報告》
丹後教育長	報告2「後援名義の承認について」、教育総務課に報告を求める。
山内課長	《議案書に基づき報告》
丹後教育長	報告3「小中学校児童生徒の問題行動等について」、学校教育課に報告を求める。
小嶋課長	《議案書に基づき報告》
丹後教育長	報告4「令和6年度7月小・中・特別支援学校定例校長会について」、学校教育課に報告を求める。
小嶋課長	《議案書に基づき報告》
西田委員	安全管理マニュアルについては、必要に応じ随時見直しを行っていくとのことであったと記憶しているが、今回の改定で3年毎に見直しとある。毎年変える必要性はないと思うが、一定期間で見直していくことは妥当であると思う。例えば、給食の食材について等、想定していないことが起こった。また、プールについても議論の余地がある中、期間を決めた上で、きちんと更新していくことが大切である。なお、事務分掌は学校教育課となるのか。
小嶋課長	学校教育課と教育研究所で担当している。安全管理マニュアルの見直しについては、新たに記載したマニュアルを根拠とし、3年毎に全体の見直しに取り組んでいく。
山内課長	策定以降、軽微な見直しも含め運用面で見直してきたが、見直しのルールが明確になっていなかったところもあり、前回の改定時に追記した。当然、その間に見直すべきことがあれば随時対応していく。
西田委員	明記されたことを評価する。
小嶋課長	緊張感を持って、引き続き取り組んでいく。
丹後教育長	報告5「令和5年度収納状況について」、学事課、保育教育課、子育て企画課に報告を求める。

<p>荒木課長、山田課長、山鳥課長 鈴木委員</p>	<p>《議案書に基づき報告》</p> <p>小学校の学校給食費、保育園・こども園・幼稚園保育料、バス実費、給食費、放課後児童対策事業利用料について、それぞれの振替は同一銀行か。</p>
<p>荒木課長</p>	<p>それぞれの費目で保護者から振替依頼に基づき、同一の場合もあれば、別の口座を指定されている場合もある。</p>
<p>西田委員 山田課長 吉良委員 山田課長</p>	<p>金融機関はどこを指定してもいいのか。</p> <p>基本的には、市内の金融機関を指定いただくが支店は市内外を問わない。</p> <p>未納が何年も続く場合は、どのような処理になるのか。</p> <p>仮に滞納が毎年度ある場合は、まず時効の中断ということで、口座引き落としができなかった場合、督促を発送し、時効の中断ができる。しかし、そのまま放置し、5年が経過すると時効になってしまうため、そうならないように分納等の誓約をいただき、新たに中断していくことを繰り返していく。</p> <p>たとえ少額であっても、納付を継続していただくように努めている。</p>
<p>西田委員</p>	<p>約10年前は未納が発生することは、それ以上未納が増えた場合、給食の質そのものに影響を及ぼしかねないという観点から、事務局も力を入れて徴収活動に取り組んできた。</p>
<p>荒木課長</p>	<p>なお、コロナ対策で、無償化になった時を差し引いても同じ程度の割合か。</p> <p>令和元年度から令和5年度について、約99.5～99.7%とおおよその収納率は変わってない。</p>
<p>西田委員 荒木課長 西田委員</p>	<p>この収入予定額については、無償化分は除かれているのか。</p> <p>除いた額である。</p>
<p>西田委員</p>	<p>当然、徴収に努めていかないといけない。一方で、本来、国がすべきことと考えているが、自治体によっては、小・中学校の給食無償化を進めている中、本市の財政状況も鑑み、どの程度であれば可能であるか等の研究も進められたい。</p>
<p>仁木所長</p>	<p>昨年度、国がアンケートをとり、本市を含め多くの市町村が給食無償化を実施したが、財源が課題となっている。本市においても、1億7千万円程度の収入がある中、この財源を確保できなければ無償化は困難な状況である。加えて、受益者負担の視点からの検討も必要であると考えます。</p>
<p>西田委員</p>	<p>受益者負担の視点は理解するが、実際に県内でも実施している自治体もある中、実施の有無は別としても、研究はしていただきたい。</p>
<p>丹後教育長</p>	<p>報告6「教育長報告」について報告する。</p> <p>前回の定例教育委員会以降のスケジュールについては、14～15頁に記載している。できる限り、現場に出向き参加するようにしている。</p> <p>7月の校長会では、水無月会議の一般質問で特に教職員に伝えたいところを抜粋し、説明した。例えば、質問1、学校園の統廃合についての質問では、市長は地域や保護者の声を大事にし、進めていきたい。学校は地域づくりの</p>

核でもあり、地元の活性化や人口増策にも取り組んでいるため、出生数のみでは決定できないと答弁されたが、こうした市長の思いとともに進めていきたい。なお、教育を預かる者として、子どもたちへの影響に重点を置いたうえで、教育条件の改善の視点を考えていかなければいけないと思っている。

質問5、メタバースの活用、特に不登校児童生徒の支援については、現時点でメタバースは未活用であるが、研究していく。不登校児童生徒の支援においては、居場所や学びの場をつくること、将来の社会的自立に向けて、どのように支援ができるかを考えていかなければいけない。学校への復帰も大事ではあるが、一番の目的は、将来の社会的自立に向けてであると考えていると答弁した。

質問6、教科担任制の小学校への展開については、働き方改革等のメリットもあるが、デメリットもある中、現在、実践している八上小学校の成果も見極めながら、今後どのように取り入れることができるのかを考えていくと答えた。

他に質問8、認知症サポーター養成講座を小・中学校等の授業に組み込んでどうか、質問9、給食の在り方、特に中学校喫食時間が短いのではないかとの意見もいただいた。重要な視点ではあるが、他にも重要な視点多々あることから、子どもたちの様子と学校の状況を考慮し、学校長の判断を尊重していきたい。市教育委員会で決定していかなければならないこともあるが、可能な限り、学校長の学校経営を尊重し、学校や様々な施設、地域の方とも連携しながら、子どもたちの健全育成に努めていきたいと考えている。

以上で、本日の審議は全て終了する。

これをもって、第4回定例教育委員会を終了する。